



認定こども園化ニュース

第19号

～大東大須賀区域認定こども園化の進ちょく状況をお知らせします～



■よこすかぬく森こども園の整備状況をお知らせします。

令和3年4月に開園予定の「よこすかぬく森こども園」の建築工事は、11月末に鉄骨の組み上げ工事が終了しました。また、外壁や屋根の色も決定し、白色を基調とした明るい印象の建物になる予定です。12月からは内装工事などの仕上げ工事を進めていきます。



南から北をのぞむ・白色の壁の園舎



ランチルーム棟の様子（11月末）

10月21日、よこすか保育園と横須賀幼稚園3、4歳児が交流会を行い、建築中のこども園の工事現場を見学しました。



保育園、幼稚園3、4歳児が工事現場を見学

■よこすか保育園 地域公開を行いました。

10月12日から10月16日に、よこすか保育園の地域公開日（ありがとう週間）を設け、保育参観や今までの歩みの展示、よこすかぬく森こども園の紹介を行いました。保護者や祖父母、地域の皆さまに沢山御来園いただき、これまで園にお寄せくださった御支援に感謝をお伝えしました。



今までの歩みの展示

■ちはまこども園のプール、北側園庭、駐車場が完成しました。

令和2年4月に開園した、ちはまこども園のプールや北側園庭、駐車場が完成し、すべての工事が終了しました。完成した園舎、園庭で、重点目標である「たんけんする ちはまの子」の育成に努めていきます。

登降園や北側のプール、北側園庭使用時などは、園舎北側の道路を横断して移動することになりますので道路に車止めポールを設置しました。自動車、自動二輪、自転車の通行はできませんので御理解、御協力をお願いします。



プールを見学



北側園庭で遊ぶ子ども達、奥が駐車場

■幼稚園・保育園の職員交流研修を行っています。

認定こども園化の事前準備と整備後の運営を円滑に進めるため、今年度も幼稚園と保育園の職員の交流研修を実施しています。幼稚園職員が保育園の現場を、保育園職員が幼稚園の現場を学ぶことは、職員一人一人の資質向上にも繋がっています。

研修に参加した職員の感想を一部紹介します。



●幼稚園職員が保育園へ

- ・子どもによって保育時間が違う中で、保育者間の連携（情報共有、役割分担等）が大切であることを改めて感じた。
 - ・3歳児は、集団生活の経験がある保育園児と家庭保育から入園する幼稚園児との違いを共通理解していく研修が必要だと感じた。
- 違いに大きな差が出ないように、育てたい姿を明確化し、保育を進めていきたいと感じた。

●保育園職員が幼稚園へ



- ・実際に保育する中で、幼稚園の先生方と話しながら活動を行えたことで、今後、こども園になった際のイメージを膨らませることができた。
- ・開園時は、新しい園舎、新しい友だち、全てが初めての環境の中で一から生活を始めて行くことになるので、子ども達の心の安定を図り、温かく受け止めていく必要があると感じた。

★掛川市では皆さまからの御意見を基に、地域の理解を得ながら認定こども園化を推進していきます。

掛川市役所こども政策課

TEL : 0537-21-1211

e-mail : kodomoseisaku@city.kakegawa.shizuoka.jp

社会福祉法人大東福祉会(本部) TEL : 0537-63-2314

社会福祉法人大須賀苑 TEL : 0537-48-2258(よこすか保育園内)

